ユリノキの町から 風の便り 57

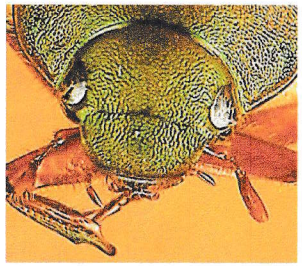
2023（令和5）/7/1.
八千代市ゆりのき台　辻　秀幸

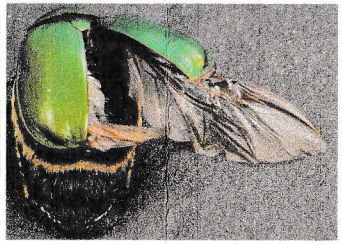
コウチュウ（昆虫綱・コウチュウ目）

昆虫の中で、かぶとを被ったりよろいを着たりして体を守る仲間がコウチュウ目。2対あるハネの前の1対が硬いので、羽を畳んでいる時の様子は飛ぶようには見えない。でも飛ぶ。硬い羽の下に巧みに畳み込んでいる薄い後ろ羽を広げて飛ぶ。

アオドウガネ（コガネムシ科）

細かい違いの仲間が多くいる。私には区別不能。その中でヤマトアオドウガネが気になる。おしりを見るとわかるらしい。畳んだ前翅の縁に細い溝（側縁隆起）があったりなかったり、途中で消えたりするが、これも見分ける手がかり。





左から時計回りで

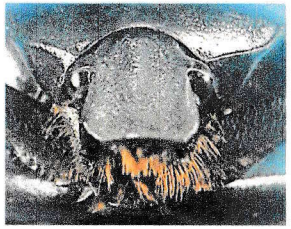
⇨こちらがヤマトアオドウガネ　でしょうか？

1番目：2017/7/21. 船橋・浜町1.「浜町公園」
2番目：2022/7/28. 船橋・浜町1. マンション階段
3番目：2017/7/23. 船橋・高瀬町「フジフーズ第一工場」入口
4番目：2022/7/18. 船橋・浜町1. マンション階段

カナブン（コガネムシ科）　クロカナブン（コガネムシ科）

アオドウガネとしばしば混同される、顔をみれば区別できる、と図鑑で解説している。四角くて面長だったらカナブン。

コガネムシは金持ち・・・のコガネムシはゴキブリで、暖房があり、食べ物が残るほどの裕福な家でないとゴキブリが現われなかった、という歌なんだという説があるそうです。



2020/7/21. 船橋・浜町1.「浜町公園」　2019/8/25. 船橋・浜町1. マンション2F 廊下

そのほかたまに出くわす中から幾つかを。カブトムシやクワガタムシなど昆虫界のスターは浜町くんだりには訪れない。

キボシカミキリ（カミキリムシ科）

リンゴカミキリ（カミキリムシ科）

「カミ」は髪で、実際に髪の毛をカットできるそうです。噛みつく力はかなりのものだという研究があります。虫好きに好まれる一方で、植物の大敵とされます。昆虫食の対象ともなります。

2018/6/20. 船橋・浜町1.「浜町公園」　2018/6/17. 船橋・浜町1.「浜町公園」

ウリハムシ（ハムシ科）

ハムシではないかと思えるムシに出会っても、どれもこれも似ていて、名前を調べるのが大変むずかしい。ガで苦労しているが、ハムシにも悩まされる。

2017/11/17. 船橋・浜町1.「京葉道路」南法面

サビキコリ（コメツキムシ科）　スグリゾウムシ（ゾウムシ科）

下左。死んだふりからパチンと音を立てて跳ね起きる。英語名を Click beetle という。コメツキムシ科の幼虫は日曜菜園でハリガネムシと呼ばれて嫌われる。バッタやカマキリのお腹から出てくるハリガネムシは寄生動物で別もの。

下右。ゾウムシは、長いくちから連想しての名付け。かつては、米びつの中にいっぱいコクゾウムシ（穀象虫）がいました。久米島ではサツマイモの大敵アリモドキゾウムシを、琉球大学などによる「不妊虫放飼法作戦」で19年かけて根絶。殺虫剤による短期決戦は、害の無い生き物にも影響する。そのほかにも問題がある。そこで考えられた作戦。時間がかかります。

⇦ サビキコリ　2021/5/20.
船橋・浜町1.「浜町公園」

⇨ スグリゾウムシ　2018/7/2.
船橋・浜町1. 駐車場